

株式会社バンス

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年4月～2024年3月)



発行日：2024年5月24日
改訂日：2024年11月8日

ごあいさつ

株式会社バンスは、昭和49年8月の創立以来、測量業を主体として業務を行ってまいりました。そして今日に変わっていく厳しい経営環境の中、補償コンサルタント業、建設コンサルタント業、地質調査業の分野へ参入しています。

環 境 経 営 方 針

<環境経営理念>

弊社は、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。活動内容は、環境経営における課題やチャンスを持期的に見直すことで明確にし、効率よく、無駄なく、タイムリーに従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2 . 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3 . 廃棄物の削減を推進します。
- 4 . 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5 . 測量業務における環境配慮を推進します。
- 6 . 定期的に経営における課題とチャンスを明確化し、改善活動を推進します。
- 7 . 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日：2020年3月10日

改定日：2021年5月20日

会長 甘中 博司

Ⅱ. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社バンス
会長 甘中 博司

- (2) 所在地
本社(登記上) 〒670-0884 兵庫県姫路市城北本町7-8
加西本店 〒675-2443 兵庫県加西市笹倉町229
豊岡営業所 〒668-0024 兵庫県豊岡市京町8-20-201
神戸営業所 〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通5-1-2

- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名・連絡先
責任者 会長 甘中 博司 [TEL:0790-44-0367](tel:0790-44-0367)
担当者 事務 藤本 莉理子 [FAX:0790-44-0767](tel:0790-44-0767)
E-Mail : info@bansu.co.jp

- (4) 事業内容
建設コンサルタント業(河川砂防及び海岸部門、道路部門、農業土木部門、森林土木部門、地質部門)
地質調査業(土質全般)
補償コンサルタント業(土地調査部門、物件調査部門、事業損失部門)
測量業(測量全般)
建築設計

- (5) 事業の規模
売上高 219,516千円(2023年度)

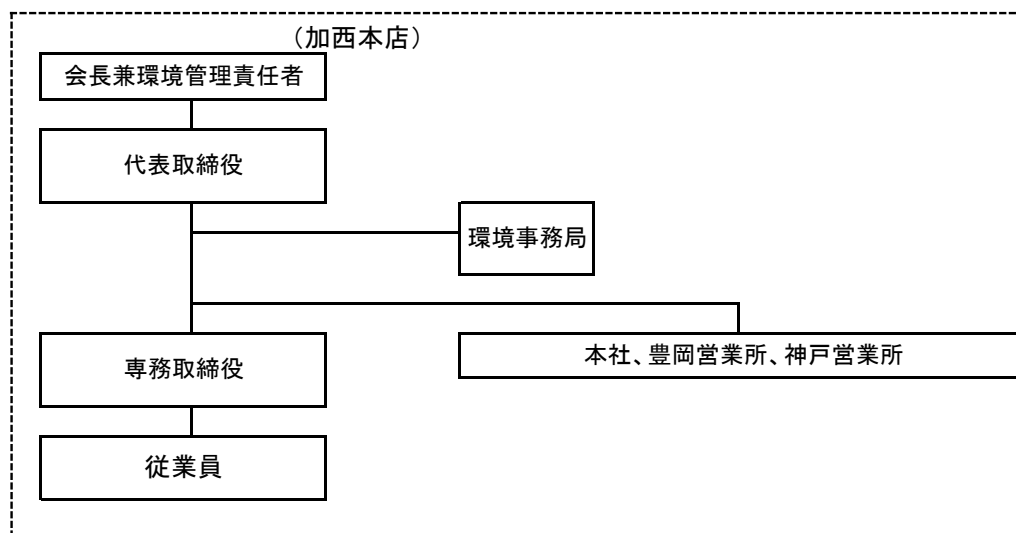
	本社	加西本店	豊岡営業所	神戸営業所	合 計
従業員 (人)	0	30	1	1	32
延べ床面積 (㎡)	-	127.87	19.87	16.5	164.24
敷地面積 (㎡)	-	251.74	-	-	251.74

- (6) 事業年度 4月～翌年3月

□ 認証・登録の対象範囲

登録組織名 : 株式会社バンス
対象事業所 : 本社、加西本店、豊岡営業所、神戸営業所
活動 : 建設コンサルタント業、地質調査業
補償コンサルタント業、測量業

□ 環境経営実施体制



Ⅲ. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2019年度 基準年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	72,300	75,513	72,180	72,274	73,501
電力	kWh	31,433	33,895	40,654	41,778	40,757
ガソリン	L	22,656.41	25,541.57	22,429.54	22,498.96	23,664.77
軽油	L	2,779.91	1,296.06	1,380.16	1,550.64	1,197.34
灯油	L	764.5	598.85	1,166.40	809.00	724.20
廃棄物排出量	kg	420.0	414.0	411.3	403.1	401.5
一般廃棄物	kg	420.0	414.0	411.3	403.1	401.5
産業廃棄物	t	排出なし	排出なし	排出なし	排出なし	排出なし
水使用量	m ³	379.0	469.0	173.2	149.4	177.2

※化学物質の使用実績はありません。

※軽油：軽油車両を削減し、ボーリングの使用量のみとなりました。

Ⅳ. 環境目標及びその実績

(1) 中期目標

年 度	2019年度 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
Ⅰ. 二酸化炭素 排出量削減	72,300	69,408	68,685	67,962	67,239
対基準		△ 4 %	△ 5 %	△ 6 %	△ 7 %
電力使用量 削減	31,433	30,176	29,861	29,547	29,233
kg-CO ₂ 対基準	10,499	10,079	9,974	9,869	9,764
対基準		△ 4 %	△ 5 %	△ 6 %	△ 7 %
ガソリン 使用量削減	22,656.41	22,429.85	22,203.28	21,976.72	21,750.15
kg-CO ₂ 対基準	52,600	52,074	51,548	51,022	50,496
対基準		△ 4 %	△ 5 %	△ 6 %	△ 7 %
軽油 使用量削減	2,779.91	2,668.71	2,640.91	2,613.12	2,585.32
kg-CO ₂ 対基準	7,295	7,222	7,150	7,077	7,004
対基準		△ 4 %	△ 5 %	△ 6 %	△ 7 %
灯油 使用量削減	764.50	733.92	726.28	718.63	710.99
kg-CO ₂ 対基準	1,905	1,886	1,867	1,848	1,829
対基準		△ 4 %	△ 5 %	△ 6 %	△ 7 %
Ⅱ. 廃棄物排出量					
一般廃棄物 削減	420.0	403.2	399.0	394.8	390.6
対基準		△ 4 %	△ 5 %	△ 6 %	△ 7 %
Ⅲ. 水使用量 削減	379.0	363.8	360.1	356.3	352.5
対基準		△ 4 %	△ 5 %	△ 6 %	△ 7 %
Ⅳ. 測量業務に おける環境配 慮	%	100%	100%	100%	100%
対基準		デジタル化・清掃	デジタル化・清掃	デジタル化・清掃	デジタル化・清掃

注 1) 電力の二酸化炭素排出係数(調整後)は、2018年度関西電力実績値の
0.334kg-CO₂/kWhを使用。

(2) 対象期間の実績

年 度 項 目		基準	対象期間における実績			
		2019年度	2023年度			
			目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	72,300	69,408	73,501	94%	△
	対基準		△4%	2%		
電力 使用量削減	kWh	31,433	30,176	40,757	74%	×
	kg-CO ₂	10,499	10,079	13,613		
	対基準		△4%	30%		
ガソリン 使用量削減	L	22,656.41	21,750.15	23,664.77	92%	△
	kg-CO ₂	52,600	50,496	54,942		
	対基準		△4%	4%		
軽油 使用量削減	L	2,779.91	2,668.71	1,197.34	223%	○
	kg-CO ₂	7,295	7,004	3,142		
	対基準		△4%	-57%		
灯油 使用量削減	L	764.50	733.92	724.20	101%	○
	kg-CO ₂	1,905	1,829	1,805		
	対基準		△4%	-5%		
II. 廃棄物排出量						
一般廃棄物 削減	kg	420.0	403.2	401.5	100%	○
	対基準		△4%	-4%		
III. 水使用量 削減	m ³	379.0	363.8	177.2	205%	○
	対基準		△4%	-53%		
IV. 測量業務に おける環境配慮	%	100%	100%	100%	100%	○
	対基準		100%	0%		

注) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（90%～100%未満）、×：未達成（90%未満）

注) 測量業務における環境配慮：測量成果控えのデジタル化・測量現場における清掃

V. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画（取組内容）
二酸化炭素排出量の削減 （目標やや未達成）		
・下記の通り。		電気、ガソリン使用量が増加し、排出量が増えた。
電力使用量の削減 （目標未達成） 気候の影響による使用量の増加		
・空調温度の適正化（冷房28℃暖房20℃）	×	空調管理を行っていたが、気候の影響により使用量が増加した。
・サーキュレーターの設置	◎	頻繁に使用する部屋に設置できた。
・不要照明の消灯	○	不要照明の消灯を徹底する。
・設備の空運転禁止	○	昼休みなど長時間不使用時には対応できたが、もっとこまめに入・切の操作をする。
		今後も一層積極的な取り組みを実施する。
ガソリン使用量の削減 （目標やや未達成） 遠方業務の増加による使用量増加		
・不要なアイドリングストップ	△	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・急加速・急停車の防止	○	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。
・効率的な移動	△	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。
		今後も一層積極的な取り組みを実施する。
軽油使用量の削減 （目標達成）		
・不要なアイドリングストップ	○	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・急加速・急停車の防止	○	安全運転を心がけている。
・効率的な移動	○	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。
		今後も一層積極的な取り組みを実施する。
灯油使用量の削減 （目標達成）		
・室温管理（20℃を基準）	○	暖房使用により、室温管理を行った。
・部屋開放の禁止	○	使用頻度の削減により、使用量が減った。
一般廃棄物の削減 （目標達成）		
・無駄なコピー用紙の使用削減	○	裏紙を利用し取り組んでいる。
・書類の簡素化推進	○	紙の使用量が多いので簡素化を推進している。
		今後も継続的に活動に取り組む。
産業廃棄物の削減 （排出なし）		
水使用量の削減 （目標達成）		
・節水の周知徹底	○	節水の呼びかけをしているが、より徹底をはかる。
・機械・道具・洗車管理	○	機械・道具・洗車の際の節水を心がける。
・清掃時・手洗い時の節水	○	より多くの工夫ができるようにする。
測量業務における環境配慮 （目標達成）		
・測量業務成果のデジタル化	○	デジタル化を進めることができた。今後も継続して行う。
・測量現場の清掃	○	現場の清掃を行った。今後も継続して行う。

VI. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項	遵守評価
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正な事業者（引取登録事業者）への引き渡し	廃棄実績 なし
消防法	消火器の定期点検	遵守
道路運送車両法	日常点検整備 定期点検	遵守
フロン排出抑制法	冷凍空調機器の簡易点検・定期点検、点検記録の保存 機器の点検・修理やフロン類の充填・回収等の機器整備に関する履歴の記録・保存	遵守
廃棄物処理法	一廃収集業者の許可の確認 「分別・保管」および「適正処理」	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等ありませんでした。

VII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

当社は、良い自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が意識できるよう、エコアクション21に取組はじめました。社員への教育は行いましたが、徹底はまだまだ不十分であります。

3Rなど、無駄をなくす取り組みを行っていますが、今後は更なる啓蒙活動を行い、全社員への徹底を図っていきます。

軽油・灯油については、今後も活動を継続し、未達成であった電力・ガソリン使用量の削減活動に注力していきます。

目標を設定し、目標をクリアできるよう環境活動に積極的に取り組みます。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	-
環境経営目標	否	-
環境経営計画	否	-
実施体制	否	-

2024年5月24日
会長 甘中 博司